

令和2年1月7日

東北地方整備局道路部

道の駅「かみこあに」を拠点とした自動運転サービス 1ヶ月間の利用状況について

道の駅「かみこあに」を拠点とした自動運転サービスは昨年11月30日に運用を開始しました。今般、開始から1ヶ月を経過したことから、利用状況をお知らせします。

引き続き、上小阿仁村や運営主体である NPO 法人等関係者と協力し、利用者のご意見の反映や道の駅とのタイアップ、視察者等村外からの来訪を増やす取組み等、利便性向上に向け、随時見直しつつよりよいサービスを目指します。

利用状況の分析 対象期間: 12月1日(日)～12月26日(木) 約4週間

約4週間全体の利用状況は以下の通りです。天候によって、利用者数に大きな違いがありました。

累計 186人

(天気が良い日 平均10人/日、天気が悪い日 平均 4人/日)

各週の利用状況は以下の通りです。天候の回復と合わせ、様々な取組を実施し、1週目に比較して第2週目以降は約2倍となりました。

1週目(12/1(日)～7(土)) 28人 (日平均 4.0人)

2週目(12/8(日)～14(土)) 49人 (日平均 7.0人)

3週目(12/15(日)～21(土)) 62人 (日平均 8.9人)

4週目(12/22(日)～26(金)) 47人 (日平均 9.4人) デマンドのみ
当面の利用者数の目標: 日平均 15人

利用者の増加に向け、以下のような取組みを進めました。

(代表的な取組)

寒さ対策など顧客サービスの向上

道の駅イベントとのタイアップ

デマンド便のニーズの高さを踏まえた運行(21～26日は全便をデマンド便)

村外の方の乗車ニーズへの対応(21日より乗車可能) 等



本取組は、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第2期自動運転で進める「自動運転移動サービスの実用化並びに横展開に向けた環境整備」のプロジェクトとして実施するものです。(<https://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/sip/>)

発表記者會: 宮城県政記者会、東北電力記者会、秋田県政記者会、東北専門記者会
能代市記者クラブ、北秋田市記者クラブ、大館市記者クラブ

問合せ先: 東北地方整備局 交通対策課長 小山 022-225-2171(内線 4511)

1ヶ月間の分析によると、天候の影響が大きく、遠距離・週末・デマンド(事前予約による運行)利用が多い等の特徴があります。

○サービス開始当初は悪天候の影響もありましたが、徐々に増加傾向になっています。
引き続き、地域の多様なイベントや 道の駅との連携等を進める予定です。

分析

天候による影響が大きい

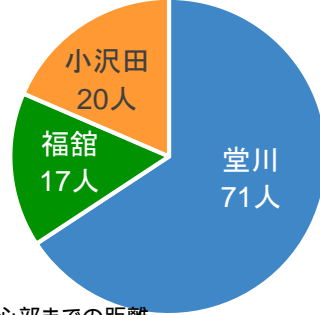
天候	利用者数
好天候	10人/日
悪天候	4人/日

1週目(12/1(日)~7(土)) 28人
2週目(12/8(日)~14(土)) 49人
3週目(12/15(日)~21(土)) 62人
4週目(12/22(日)~26(金)) 47人

分析②

遠方集落を結ぶルートの利用が多い

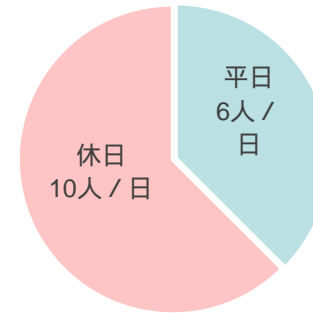
ルート別利用者



村中心部までの距離
堂川 約2km 福館 約1km 小沢田 約0.5km

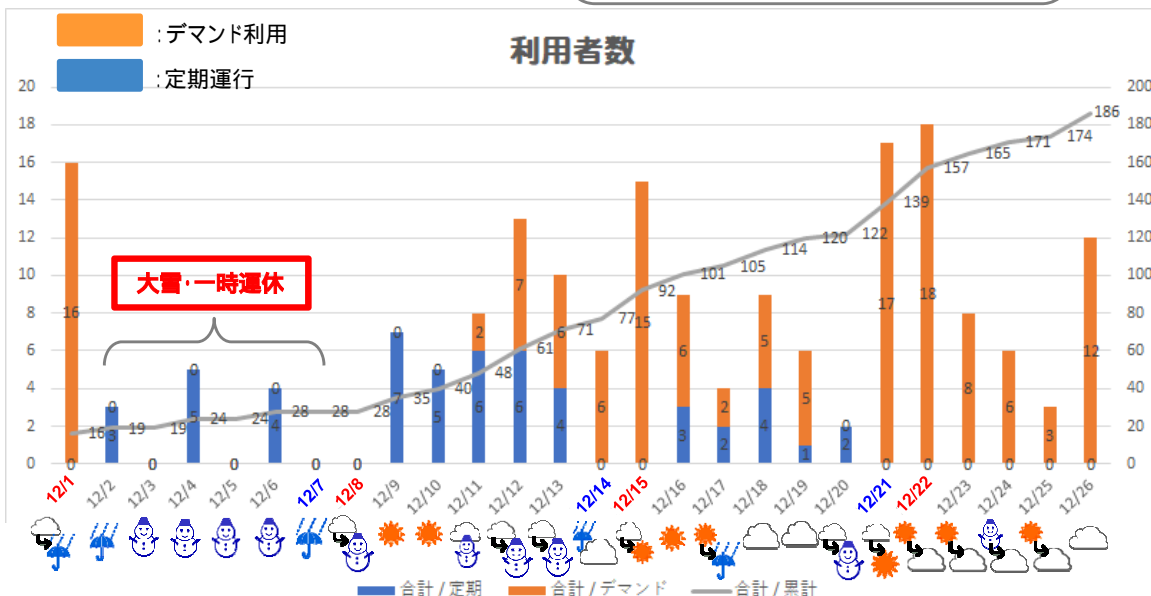
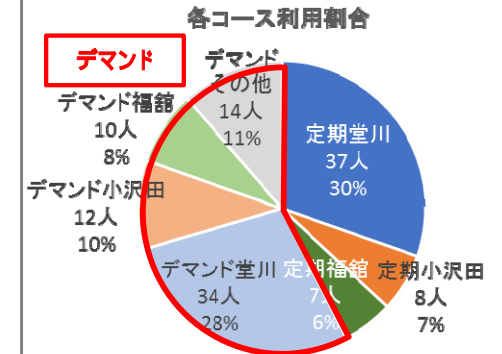
分析③

週末利用が多い



分析④

デマンドの割合高い

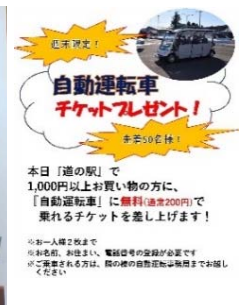
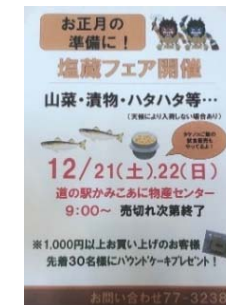


<利用者の増加に向けた取組み>

○顧客サービスの向上 (例) 寒さ対策



○道の駅やコンビニ等とのタイアップ



道の駅「かみこあに」を拠点とした自動運転サービスの社会実装

自動運転車両 <使用車両>



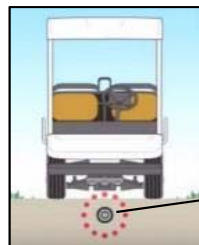
開発: ヤマハ発動機株式会社
定員: 最大7人(旅客定員 5人)
速度: 12km/h 程度

○ 導入台数: 1台

運転手: 地元の有償ボランティアが対応

走行中は乗車するがハンドル等は操作せず運行を監視

<自動運転の仕組み>

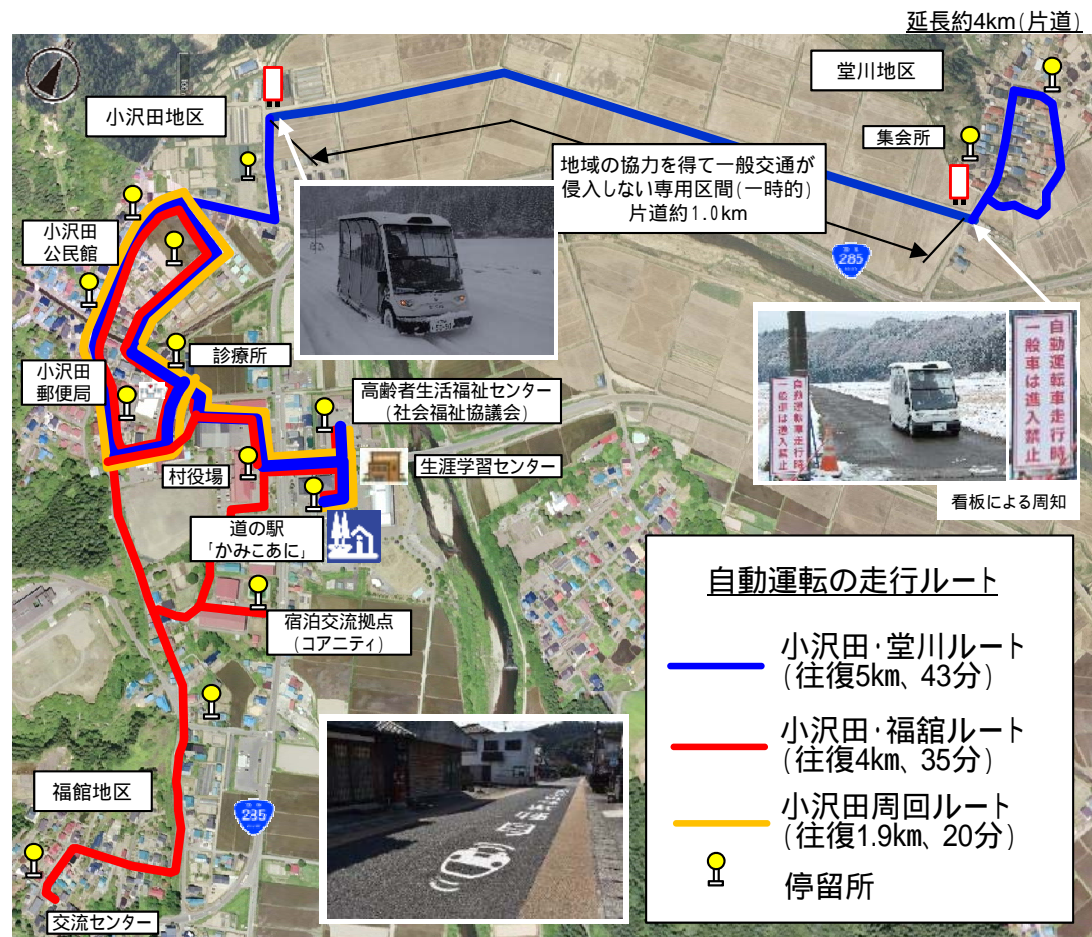


電磁誘導線

電磁誘導線を敷設
車両を誘導

走行ルート

- 道の駅「かみこあに」を拠点とした全長4kmのルート
- 地域の協力を得て、一部区間で期間を限定して一般車両が進入しない専用区間を確保することで実施



©NTT空間情報

地域のご意見や運行時期の特性等踏まえながら、運行計画等随時見直し予定。

運営体制

運営主体	NPO法人 上小阿仁村移送サービス協会
サービス	高齢者の送迎 農作物や日用品等配送 等
運賃・運送料	運賃 : 200円/回 運送料 : 200円/回(予定 着手時期調整中)
運行ルート	3ルート
運行スケジュール	定期便 : 午前1便 午後1便 デマンド : 定期便の隙間の時間

- 1ヶ月間の分析によると、天候の影響が大きく、遠距離・週末・デマンド(事前予約による運行)利用が多い等の特徴があります。
- サービス開始当初は悪天候の影響もありましたが、徐々に増加傾向になっています。
- 引き続き、地域の多様なイベントや 道の駅との連携等を進める予定です。

分析①

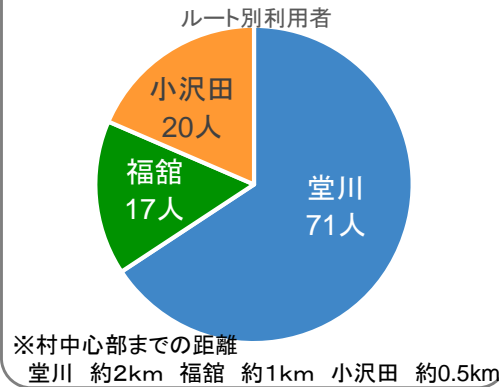
天候による影響が大きい

天候	利用者数
好天候	10人/日
悪天候	4人/日

- 1週目(12/1(日)~7(土)) 28人
- 2週目(12/8(日)~14(土)) 49人
- 3週目(12/15(日)~21(土)) 62人
- 4週目(12/22(日)~26(金)) 47人

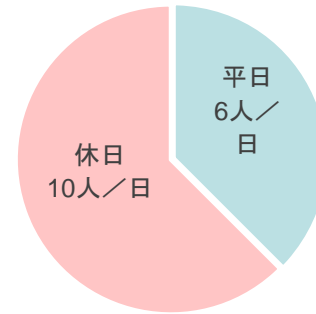
分析②

遠方集落を結ぶルートの利用が多い



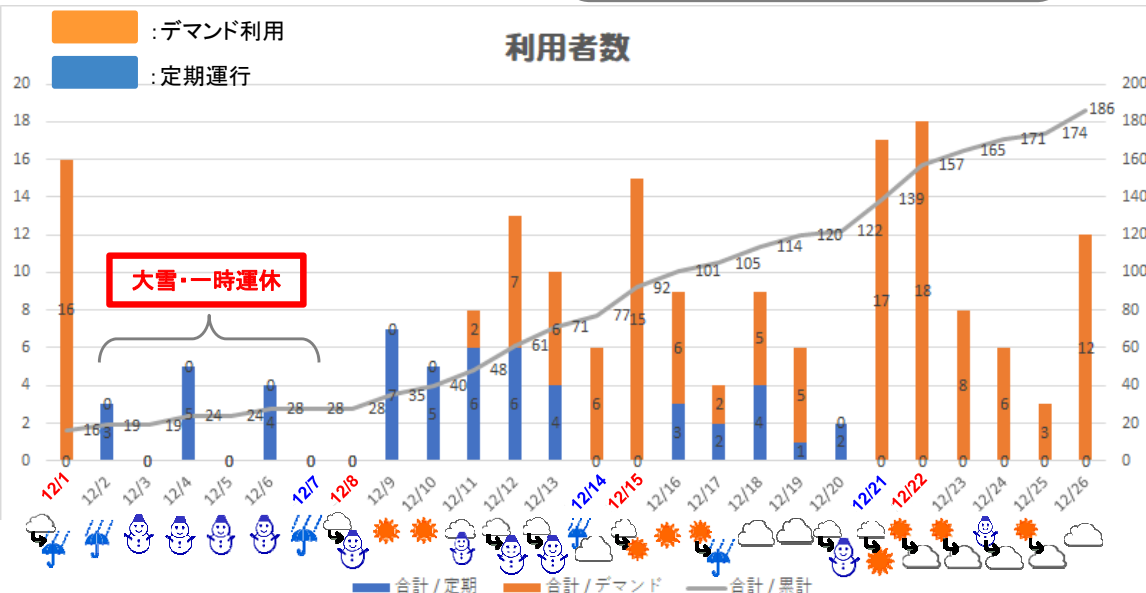
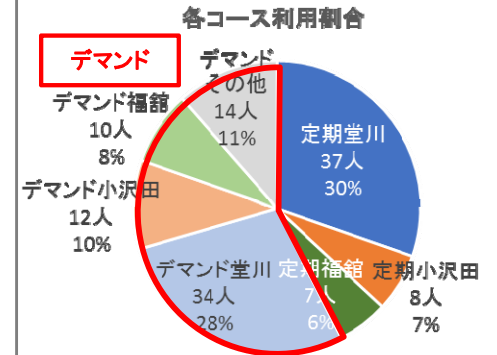
分析③

週末利用が多い



分析④

デマンドの割合高い



<利用者の増加に向けた取組み>

○顧客サービスの向上 (例) 寒さ対策



○道の駅やコンビニ等とのタイアップ

お正月の準備に! 暖房フェア開催 山菜・漬物・ハタハタ等... 12/21(土), 22(日) 道の駅かみこあに物産センター 9:00~ 売切れ次第終了

自動運転車 チケットプレゼント! 手取50名枠

本日「道の駅」で1,000円以上お買い物の方に、「自動運転車」に無料(通常200円)で乗れるチケットを差し上げます!

お問い合わせ 77-3238

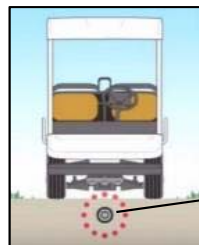
道の駅「かみこあに」を拠点とした自動運転サービスの社会実装

■自動運転車両

〈使用車両〉



〈自動運転の仕組み〉



電磁誘導線

電磁誘導線を敷設
車両を誘導

- 開発: ヤマハ発動機株式会社
- 定員: 最大7人(旅客定員 5人)
- 速度: 12km/h 程度
- 導入台数: 1台
- 運転手: 地元の有償ボランティアが対応

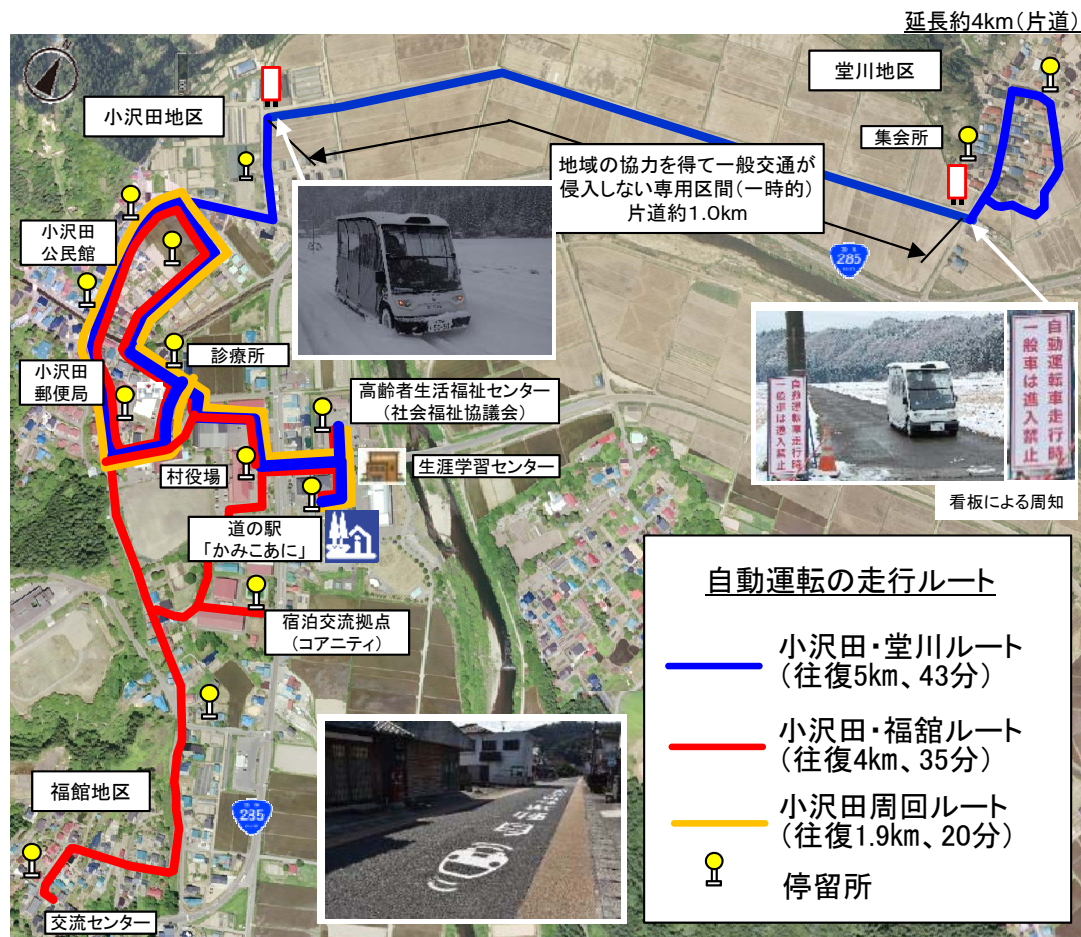
走行中は乗車するがハンドル等は操作せず運行を監視

■運営体制

運営主体	NPO法人 上小阿仁村移送サービス協会
サービス	高齢者の送迎 農作物や日用品等配送 等
運賃・運送料	運賃 : 200円/回 運送料 : 200円/回(予定※着手時期調整中)
運行ルート	3ルート
運行スケジュール	定期便 : 午前1便 午後1便 デマンド : 定期便の隙間の時間

■走行ルート

- 道の駅「かみこあに」を拠点とした全長4kmのルート
- 地域の協力を得て、一部区間で期間を限定して一般車両が進入しない専用区間を確保することで実施



※地域のご意見や運行時期の特性等踏まえながら、運行計画等随時見直し予定。

©NTT空間情報